

1. 共感できる部分に線を引きながら文章を読みましょう。
2. 佐々木さんは「いじめの起こる原因」をどのようなものだと説明していますか。

.....

.....

3. 佐々木さんは「もし、いじめにあったならば、どうすればいい」と考えていますか。

.....

.....

4. 佐々木さんは「いじめに対抗していかなくてはならない」ためにどのようなことをしていかなければならないと考えていますか。2つ答えましょう。

①

②

5. この文章のタイトルの に入る適語を文章から選び答えなさい。

.....

6. この文章を読んで、あなたはどのように思いましたか、書きましょう。

.....

.....

.....

年 組 名前

私は以前、ある中学校で「1年のクラスでいじめがあったから、来年からクラス替えを行う」といった話を聞いた時、いじめについて考えてみようと思っ



た。いじめの起こる原因としては、ほとんどは個人の欠点もしくは、空気を読む能力の欠如が挙げられると思う。また、才能や個性、容姿など、人とは違うという点はもちろん、その場の人間関係など

も大きく影響しているだろう。空気が読めない人が人間関係の中で浮いてしま

い、何らかの欠点や違いが際立ち、いじめにつながってしまう。

友達、ただの傍観者になるかもいれない。「同調圧力」という言葉もある。最悪の事態ばかり想像すると、時に行動に、対応に困ってしまうだろう。

追いつまされてしまえば、いじめに遭った場合、自分の大切なものを思い出してみるというと思う。家族が最後まで残ってくれた友達が、力を与えてくれるだろう。

いじめ生も 変えよう

佐々木長汰

いじめの問題は子どもだけではなく、理不尽ないじめは今なお存在している。それをつくるのは、やはり「空気」なのだ。理不尽で、形のない「空気」と私たちは戦っていかなければならない。それこそ、変えるべき第一のものであると思

力するというのは、大切なことだと思う。だが、努力ではどうにもならないこともあるだろうし、一朝一夕で身につくものでもない。

もし、いじめにあったならば、どうすればいいか。いじめに対抗していかなくてはならない。個人としても、社会としても。まずは、いじめられた時の対応策や相談窓口などについての知識を共有していくべきだ。

そして、いじめを許さないものとして、盛岡市 高校生 16歳

霧困気を社会全体でつく